

横浜市立みなと総合高等学校 ESCO 事業提案審査の講評

横浜市では初めての高等学校施設への ESCO 事業導入となる第 23 号「横浜市立みなと総合高等学校 ESCO 事業」の提案を募集しました。公募にあたり照明の LED 化を必須改修要件とし応募者のノウハウを活かした提案を広く募りました。

応募は 1 グループからあり、事前に公表している「ESCO 事業提案審査要領」に従い、提案内容を検討するとともに、公正かつ客観的に評価を行いました。

その結果、アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店、東洋電装株式会社及び芙蓉総合リース株式会社グループによる提案を最優秀として採択しました。

アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店グループの提案は必須改修要件である照明の LED 化、空調機の間欠運転制御の導入、CO2 濃度センサーによる全熱交換機運転の最適化、トイレへの擬音装置の設置により使用エネルギーと光熱水費の削減を図る提案でした。

また、故障している空調コントローラの更新による機器運転の適切化や ESCO 設備の運転状況や温湿度、CO2 濃度を記録、分析を行うことで運用方法の改善で更なる削減効果が期待できる内容でした。

最後に多大な労力をかけ、知識を活かした貴重なご提案をいただいた応募者に対し審査委員を代表して心からお礼申し上げます。

令和 2 年 11 月 5 日

横浜市 ESCO 事業提案審査委員会
委員長 沖 裕壮